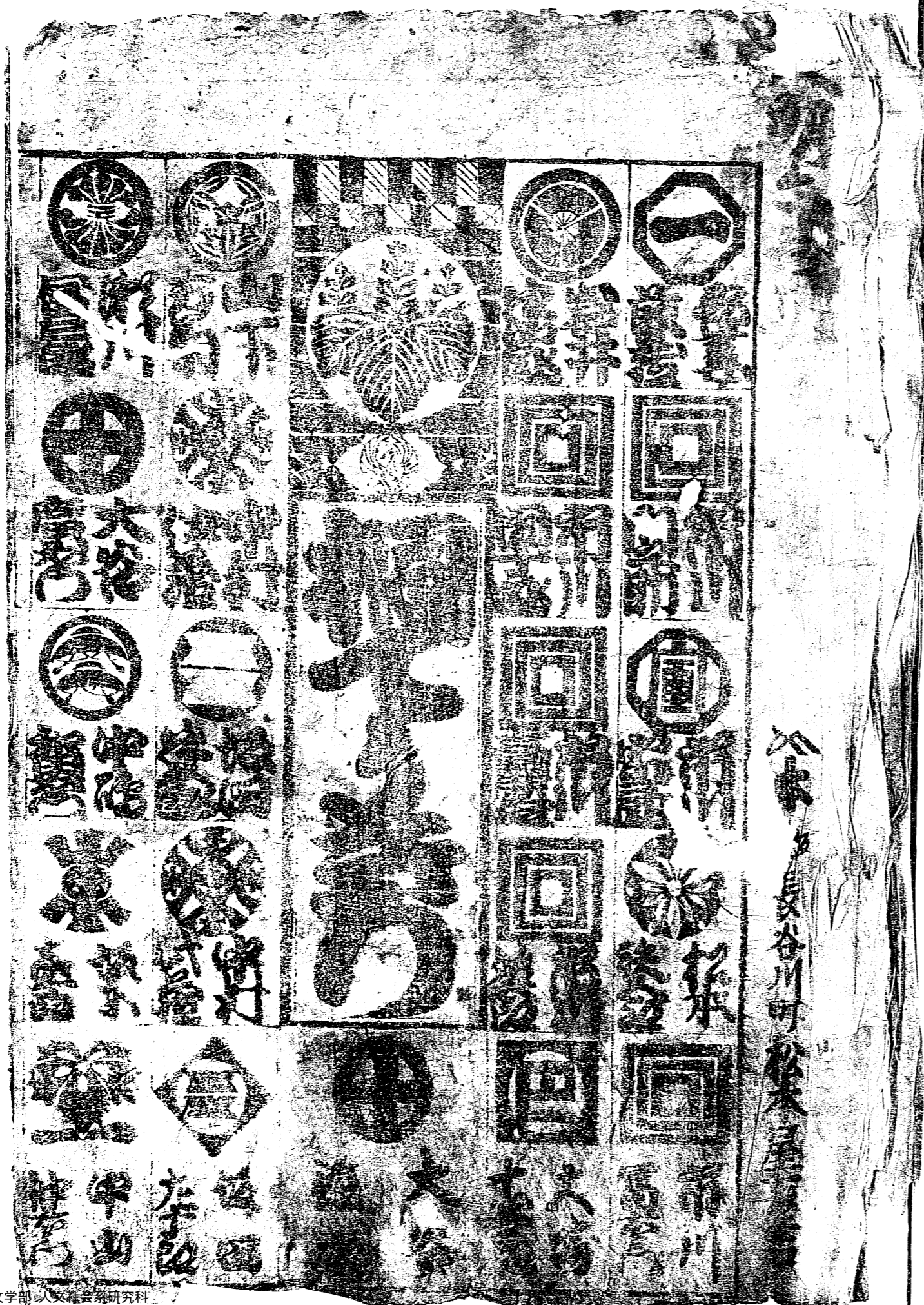


近世22.7-06-091



三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
岩井	岩井	岩井	岩井	岩井	岩井	岩井	岩井	岩井	岩井
三條	三條	三條	三條	三條	三條	三條	三條	三條	三條
増	増	増	増	増	増	増	増	増	増
山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市

皇太子御慶賀 其日謹使

北條四郎時政

附 白柏子熊谷の迎小奉と儀其意の表

浪花堂の御具后御

御慶賀 全日本新聞社御慶賀

其日謹使 護国護民

皇太子御慶賀 其日謹使

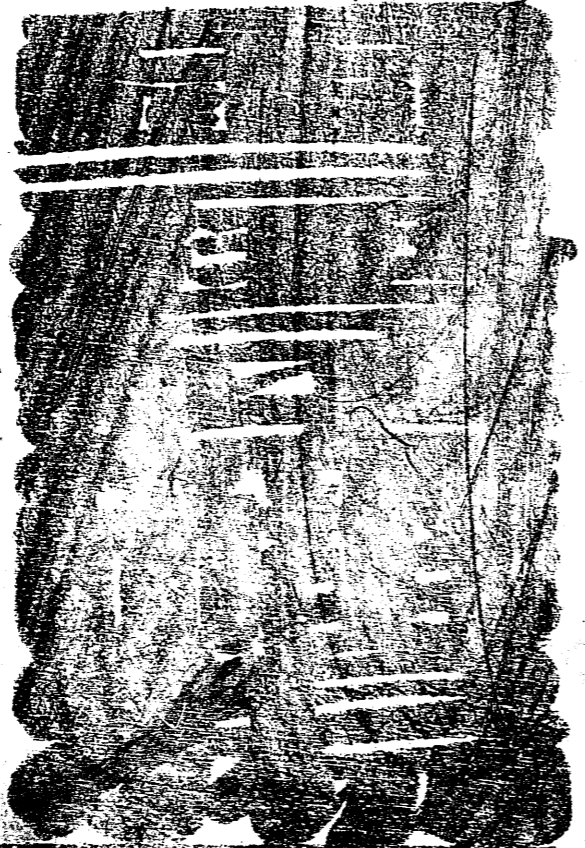
皇太子御慶賀

紫の字様

其日謹使

紅葉

赤山



びつらぶつのもいぢが

泉久 大書

此のちのちありき
ちのちのちありき
りり去まむ

中唐和田
市川家三郎
つづまゑ

中村仲
市川園十郎

警言固

敬言固

此旗捺ハ藤原釣桃灯

知音の謝東小
地を約しき
屏風の林木
其慮ハ

直筆

万のく女を我
大にのこる度
くまのこる度
おまのちありき
ちのちのちありき
まがのちありき
いさのちありき
まのちありき
たのちありき
まのちありき
おまのちありき
かまのちありき
おまのちありき
おまのちありき

中村十郎
市川家三郎
中村家三郎
市川家三郎
あつまゑ
山下万吉
市川こま
大谷彦左
市川白子
中村仲
市川園十郎

千種萬歳大々叶

元祖與大夫
至天明六年
元二百四十七年

天明六年

狂言
作者

霜月朔日ヨリ

後見

中村十郎
岩田周
曾根正吉
増山金八